

平成 30 年 11 月 4 日

第 10 回 UEJ 「大学開放研究会」のお知らせ

地域の教育活動を活性化させる大学開放の役割について

開催日時:平成 30 年 12 月 2 日(日) 午後 13:30-16:45
於: キャンパスプラザ京都 (京都市大学のまち交流センター)
大学コンソーシアム京都 5 階第 1 共同研究室
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939
TEL 075-353-9100 (京都駅から徒歩 5 分)

今年は例年になく台風が多発し、各地に大きな被害を与えました。被害に遭われた方には心からお見舞い申し上げます。

早速ながら、延び延びになっていました、関西での大学開放研究会ですが、やっと調整が付き、下記のようなプログラムで実施したいと思います。会場は、通常と龍谷大学ではなく、河村理事が指導されてできた『大学コンソーシアム京都』の施設を使わせていただくことになりました。お間違いないようにお願いします。

現在、文科省の人づくり、働き方改革等が政策レベルで進められております。地方創生、少子高齢化、人生 100 歳時代、AI 時代、Society 5.0 など新しい社会状況を迎えて、生涯学習に期待が大きくなり、どのような団体もこれからは生涯学習であると、乗り込んできている状況になってきました。このように、大学開放も大きな曲がり角にあると思います。

今回は 第 1 部で、藤田公仁子氏に「地方大学と地域との関係」についてご講義をお願いし、第 2 部では「大学開放で社会人学生をどのように確保するか」ということを巡って検討することを設定しています。

今回の研究会から本機構の会員の方全員にご案内することにしました。ぜひ、ご都合がつけばご参加の程、お願い申し上げます。また、理事長付顧問の唐川伸幸氏もご参加されるとのことです。会員の方は、周囲の会員以外の方々（講師の方、行政担当者、団体関係者、その他関心のある方）に、ぜひご参加を呼びかけていただければと思います。お会いするのを楽しみにしています。

NPO 法人 全日本大学開放推進機構
理事長 香川 正弘

プログラム 平成 30 年 12 月 2 日 関西大学開放研究会

■ 第一部 13 : 30 — 15 : 00

講演： 地域の教育活動を活性化させる大学開放の役割
——生涯学習プラットフォームとして担うもの——

講師 富山大学 域連携推進機構教授 藤田 公仁子

司会 大阪教育大学 教育協働学科教育心理科学講座教授 出相 泰裕

[講演要旨]

現在の生涯学習政策は、「学校と地域の協働」、「ICTを活用した生涯学習」、「生涯学習の成果の活用」などに踏み込み、学習した成果が適切に評価され、社会的活用へとつなげられる生涯学習整備の基盤となるものの存在が重要であるとされています。その中で、「生涯学習プラットフォーム」が、地域の教育活動の活性化を進めていく上で、どのような機能を有し、展開していくことが望ましい姿であるのかを、大学開放セクションとして明確にしていくことが求められています。

地方国立大学における生涯学習系センターの専任教員として進めている学習プログラム開発及びシステムづくり、自己開発プランニングの方向性、ICT の活用を進めてきた地域の状況、将来的なシステム開発の方向性を紹介します。

知の開放としての生涯学習機会を提供してきた大学は、「学びの活用」についての「生涯学習プラットフォーム」が、その一端を担うことも視野に入れつつ、新しい大学開放セクションの将来像について、どのような方向に進むのかを探る時間にてできればと考えます。

■ 第二部 15 : 15 — 16 : 35

共同討議 司会： 香川 正弘

次の2つを考えています。

都合が悪いときは、前回に案内したように「社会人学生を18%にしていくには大学開放はどのようにすすめたらいいか」を取り上げたいと思います。

< 議題 >

問題提起 1. 大学コンソーシアム京都の施設運営について（河村能夫氏）

問題提起 2. 大学を絡めた地方創生について（唐川伸幸氏に解説をお願い）

◆ 参加申込み方法 ◆

定員： 30名

会費： 1,000円（資料代等含む）

申込： 原則として「メールにて」①お名前 ②ご職業 ③ご連絡先 をご記載の上、一週間前（11/25）までに事務局へお申し込みください。

※ 参加者で「共同討議のテーマ」のある方は、具体的な内容を記載の上お申し込みください。

【申込み・事務局メールアドレス】 shigeto.j.k@gmail.com